



## 【義に飢え渴く者が幸いです。(4)】

聖書：マタイの福音書 5 章 1 節－10 節、暗唱：詩篇 42 篇 5 節

クリスチャンプレイズチャーチ 鄭南哲 牧師

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！先週一週間の生活はいかがでしたか。みんなお元気でしたか。昼間はもう夏みたいに暑くなっていますよね。まだ朝晩温度差が激しいので風とか引かないようにお気をつけて下さい。そして最近全国的に 感染拡大が止まらず、風疹の患者数もことしに入ってから患者数は去年の同じ時期の 36 倍に達しているようです。5 月の最後の一週間、そして、新しく始まる 6 月中にも心も体も、魂もみんな健康である切にお祈り申し上げます。

愛するみなさん、今日イエス様は山上での四番目の祝福されるための御教えについて“**義に飢え渴いている者は幸いです。その人は満ち足りるからです。**”宣言された御言葉の内容について共に考えて見たいと思います。

### ＜1. 飢え渴いている事とその人＞

#### （1）飢え渴き

愛するみなさん！今日、私たちはあらゆるものが豊かな時代なので飢えの苦しみはあまり感じられないで住む時代ではないのでしょうか。しかしみなさん飢えと渴きの苦しみがどんなにつらい苦しみのかご存知ですか。いつか私は約 4 日ぐらひは、何回か断食の祈りをしたことがあります。どれだけお腹が空くことのつらさをおぼえたのかわかりません。一日目だけでも、なにも食べないで過ごす夜になると何かが食べたくてしかたがありません。眠ることもできないほどです。人間でも、動物でもお腹が空くと理性を失い、忍耐も切れて喜びも消えます。飢えというのはこれほどつらい苦痛です。

B.C.436 年ローマにひどい飢饉があった時、多くの人々は餓死(がし)で死ぬより、川に落ちて死ぬほうがましだと思ひ、実際、数千人の人々がティベールの川に身をなげて死を選んてしまった事件が世界の歴史にも残っています。渴きも私たち人間にはとっても耐え難い苦痛の一つではないでしょうか。のどがかわくと水しかほしがりません。実際人間は多く水分で構成されているでしょう。例え、胎児は 97%,新生児は 77%, 子供は 70%,大人は 60%, お年よりの方は 50%が水分で身体が構成されていると言われます。この統計によれば、結局人間の体は水がたりなくなってしまうと致命的であって、死んでいくしかないことが分かって来ます。私たちに水はそれほどいのちと直結されているのどが渴くとき死の苦しみまで感じるようになります。

そういうわけですからみなさん！飢えと、渴きが同時に来た時は、その苦しい渴望はどれだけしんどいでしょうか。

#### （2）飢え渴いている人は

しかし、飢え渴いている人はまず、常識的に考えて見ると、生きてる人じゃなければなりません。死んでいる人や遺体には飢えることも、渴いていることもありませんし、できません。ですから、飢え渴いていることは生きてる人の証拠でもあります。

ところが、人は病気になると、まず食欲から失いようになるでしょう。その人がまた元気になると、一番先に食欲が回復されるのは靈的にも同じ原則だと思ひます。今日私たちの社会ではもっと金がほしくて必死に飢え渴いている人は多くいます。仕事を成功するため飢え渴いている人も多くいます。愛を求め快樂や性的な満足のために飢え渴いて人たちも多くいます。

しかし、ますます人々が正義の守るために熱望を持っている人たちや、義に飢え渴いている人たちが少なくなっている現象は靈的にこの社会も、人々もますます元気じゃなく、病気になっているからかも知れません。

今日みなさんは神様の御前で飢え渴くほど何を望んでいるのでしょうか。お金ですか。健康ですか。愛ですか。

今まで私たちは神様の御前で正しいことを願っていても実際その通りに行なうことができない自分の弱さと限界の姿を認め、ちょっとした自分の功劳や良い行いに頼らず、ひたすら主イエスキリストの十字架の恵みと赦しだけをつかむ人が“心の貧しい者の幸いな姿”だと以前、申しました。今日も神様の御言葉に従って生きようとするが、それもできずむしろ罪に負けってしまう罪深みじめな自分の姿のため神様の前で悲しみながら苦しむ人が“悲しんでいる人の幸いな姿”だと申しました。嘆いた後、自分にむかって臨まれる神様の赦しと恵みと愛に感激してほかの人に接するたびに表される親切と愛の姿が“柔和”だといいました。神様と人の前で柔和な者はこれからは不正と罪と妥協しません。すべてをご存知である神様の御前でこれからの自分の罪を憎みます。それだけではなく神様の御言葉と真理が自分にはものたりないことを認め、謙遜に神様の御言葉をもっと学ぼうとします。

ですから、神様は義に飢え渴いている者を、まるで谷川の流れを慕いあえぐ鹿のようだとわれています。詩篇 42 篇 1-5 節まで一緒に読んでみましょうか。“鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、神よ。私のたましいはあなたを慕いあえぎます。私のたましいは、神を、生ける神を求めて渴いています。いつ、私は行って、神の御前に出ましようか。私の涙は、昼も夜も、私の食べ物でした。人が一日中「おまえの神はどこにいるのか。」と私に言う間。私はあの事などを思い起こし、御前に私の心を注ぎ出しています。私があ群れといっしょに行き巡り、喜びと感謝の声をあげて、祭りを祝う群集とともに神の家へとゆっくり歩いて行ったことなどを。わがたましいよ。なぜ、おまえは絶望しているのか。御前で思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを。”

## <2. 義とは何でしょうか。>

“義に飢え渴いている者は幸いです。”

イスラエルのヘブライ語でこの義は‘チェデク’だと言いますが、旧約聖書では同じ義を意味するこの言葉はなんと 500 以上書かれています。ギリシャ語ではこの義と言う単語は‘ディカイオスネ’という言葉で、この言葉も新約聖書ではなんと 200 回以上書かれています。ですから、この義と言う言葉は聖書の中でも大切で中心的な内容であることが分かります。この義は神様の本性を表しています。つまり、神様は正義なるお方だと言う意味です。聖書には義なる神様、正しい、正義、公義の神様について多く出ています。例えエレミヤ書 4 章 2 節には“あなたが真実と公義と正義とによって「主は生きておられる」と誓うなら、国々は主によって互いに祝福し合い、主によって誇り合う。”そして、23 章 6 節でエレミヤは“主は私たちの正義と呼ばれよう。”言われました。あの有名な詩篇 23 篇 3 節でも、“主は私の魂を生き返らせ、御名のために、わたしを義の道に導かれます。”と告白されています。義なる神様は正義と公義をもってすべてを治めておられる方であると教えられています。(詩篇 7:9、11、48:10、75:2、111:8、イザヤ書 9:7、エレミヤ書 4:2、33:15、アモス書 5:24、ヨハネ 17:25 など)

ですから、結局義に飢え渴くことは言いかえりますと、神様に飢え渴くことなのです。人がもっている霊的な渴きは結局神様についてのことだと言う事です。イエス様の言われる“義”とは神様の義を言います。人間の目で正しいことではなく、神様の目で正しいこと、神様の御前で義なることを意味します。どんなにこの世の人々が正しいと思っても神様には正しくないことがあります。たとえば、偶像崇拜することとかいろんな神々を拜むことを日当然のように考えるかもしれませんが、聖書で神様は神様以外のものを拜むことは正しいことではなく、けっして神様に喜ばされないことだといわれています。そしてこの世は愛という名目で不倫をうつくしく描写し、さらに真の愛のためなら、家族を捨てながらもつかむ事が正しいことのように言っていますが、これもけっして神様に喜ばされません。

ですからこの‘義’は人の考えにはあわなかったとしても、神様が正しいと思われるこれがまさに‘義’なのです。この義は人や自分中心ではなく神様が中心です。つまり神様が何を喜ばされるのか、神様は何を望んでおられるのか、神様の御教えは何であるかということです。

神の御言葉を通して知ることができる義

なので、私たちはイエス様が言われた正しい義が何であるかを知るためには、神様がどんな方であるか深く知り、その方が私たちにどんな御言葉をさずけてくださるのか聞くために努力するときまことの義をさと、行うことができると信じます。このために今日私たちの手に渡されている神様の御言葉を日々さぐり、御言葉をとおして義と正しいことを悟らされます。私たちが神様の御言葉をつかまなければならず、神様の御心とは異なった考えや声を出してしまい、いつの間にか不義と妥協する自分たちの考えや生活になりかちだと思えます。そういうわけで義に飢え渴いた者は神様の御言葉中心に生きることをほかのものにゆずらないで、むしろ喜ぶ。ダビデはまことに神様の前で正しく生きる者でした。どこでこの姿をみることができますか。

詩篇のはじめである1篇です。詩篇1篇の1-3節を一緒に読んでみましょう。“幸いなことよ。悪者のはかりごとに歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ。その人は、水路のそばに植わった木のような。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える。”

そして神さんの義に飢え渴いている人は神様の御言葉をとおして義をまなび、さとることで留まりません。実行と実践が伴います。今日日本の信徒たちの一番の弱点だとすると机上の聖書勉強に満足してしまう場合が多いということです。もう一步すすんで、悟らされた真理と神様の義をこの世に、そして自分の生活で大胆に実践し、表わすのに他人の目と反応を恐れてしまい、とまどうときが多いということです。すなわちこの世に隠されているクリスチャン、教会内に留まっているクリスチャンがあまりにも多いということです。

イエス様に山上での教えを聞いていた対象はすでに神様を信じて救われた者たち、イエス様の弟子たち、御国の民たちでした。すでに救いにおいてイエスキリストを信じることによって義人とされた者たちでした。

これはつまりここで言われている義とは御国の民たちがこの世でどのように生きるべきなのかを表わします。神様の子とされた私たちはこの世において神様のために正義のことに気をくばるべきです。なぜなら神様は良いわざを喜ばされ、そして私たちにそれを求めておられるからです。私たちはただしく信仰の生活をするのに留まらないでこの世においても‘良いわざに熱心なご自分の民’として召されている事実をわすれないでください。(テトス 2:14)。“公義の水のように、正義をいつも水の流れる川のように流れさせよ”(アモス書 5:24)

この世は不義について正しい声を出すといやがります。むしろ人々にきらわれ、くやしさを覚える時もあります。そういうわけで義に飢え渴いている者は神様の干渉を期待し、神の統治を求め、神様からの正義のさばきを切に待ち望みます。神様にもっと強く訴え、神様だけを頼ります。

愛するみなさん!日本ではよしださきえさんをご存知だと思います。たぶん日本に住んでいる人ならほとんどの人々が知っている方だと思います。夫であるよしだしげるさんと一生涯、北朝鮮にラッチされためぐみさんを救うためにいままで戦っていませんか。強制ラッチされた人々のために一切口を開いてない世界とこの日本の社会に対してよしださきえさんも沈黙してはいませんでした。日本社会にこの不義の課題を提議し、世界にむかって関心を集め、解決しようと一生涯をささげているではありませんか。実際この横田さきえさんは真実なクリスチャンです。私はテレビでさきえさんの姿をみるたびに、まことにその方は義に飢え渴いている方だと考えます。彼女は神様の御前でさびしく、くやしいし、つらいとき、なきながら切にこのように祈るのだそうです。神様の正義が勝利することを信じさせてくださるように、そして神様の正義が川のようにこの社会と世界に流れ出るように祈っているそうです。

彼女は神様の子供としてまことに世の不義に退かないで、神様の正義を慕い求める姉妹にちがいません。宗教改革者であるマルティンルーター先生は“もしみなさんがこの世を完全に敬虔に変えられないならみなさんがやれることだけでもしてください。どうかこの世の砂漠か、すみっこにかくれないで、外に出てきてみなさんの手と足とみなさんの全体をささげ、生きておられる神の義を表わしなさい。”と言いました。

結局、これらのことをまとめてみると、今日の御言葉の義とはまず日々義なる神様を御言葉を通して知り、この世

で神様の義を実践しながら生きることであることがわかります。

### く 3. 義に飢え渴いている者に与える神様の祝福- 満ち足りる >

“義に飢え渴いている者は幸いです。その人は満ち足りるからです。” 主にあって正しく歩んでいたダビデは神様の前でこのように告白することができました。“主は私の羊飼いです。私は、乏しいことはありません。”(詩篇 23:1)

またイエス様は弟子たちに“だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。(マタイ 6:33)”と約束して下さいました。

まず神の国を求めることは将来の天国だけを求めなさいということではありません。これは王様が自分の国を統治するように現在日々の生活の中で神の支配、神様の治め、神の統治を求めなさいと言う意味です。クリスチャンの一番の祝福は、家族の上にも、職場の仕事の上にも、自分の人生や生活の上にも神様がすべて支配し、正しく導いて下さって、祝福して下さいるように求めることができる特権が与えられていることです。そして、神の義を求めることは神様の関係と人との正しい関係の中で神様を喜ばせることを望む姿勢です。その時、これらのものはすべて与えて下さる祝福を頂けると約束されました。

私が一番いやがる韓国のことわざが一つあります。“道はどうであれソウルに早く着けばそれで良い。”ということわざです。このことわざの意味は何でしょうか。成果と結果、実績だけが大事で、人をそれで効用価値をつけている今の社会の中で、過程はどう正しくなくても結果さえよければそれで十分ということです。この世は今日もこの価値観と論理を人に求めます。不義を行い、他の人生やその人権がどうなってもその過程は関係なく、ただ結果だけが重要だと。この社会はこのような価値観がとつても一般化されているため、例え、大学の学生たちは試験中カンニングすることで成績がよければという風に考えている学生が多いらしいです。むしろカンニングしないとあほだといわれるほどです。方法はどうであれ、とりあえず成績さえよければ。という考え方です。

どんな仕事であれ、どんな方法であれ、お金さえたくさんもうければそれが成功で、幸福だと言われるこの世で、御言葉という神様の正義の基準をもって従つて生きたいと信仰の決断と志を立てていかなければ、私たちもいつその川に流れてしまうかわかりません。富が祝福すべてではなく神様の前で正しく生きることが幸いなことです。正しく生きようとする時、そのため世の人たちよりも今はおそくて、自分に損になるように感じられても、イエスを信じる私たちは神様が喜ばれる者として御言葉通りに正しく生きるべきです。不義を行う人々がこの世でしばらくは成功しているように見えるかもしれませんが、神様はそのような者たちに決して祝福して下さらないと言われました(イザヤ 57:21)。

今日イエス様は義に飢え渴いた者は幸いですと言われました。その人たちは満ち足りると約束されています。神様は神様の義のために努力し、退かない者たちにむかって、時には損を受け、無視されるときもあるがかならず義に飢え渴いている人たちの祈りに答え、満ち足らせると約束して下さいました。イザヤ 55 章 6-7 節で“主を求めよ。お会いできる間に。近くにおられるうちに、呼び求めよ。悪者はおのれの道を捨て、不法者はおのれのはかりごとを捨て去れ。主に帰れ。そうすれば、主はあわれんでくださる。私たちの神に帰れ。豊かに赦してくださるから。”

愛する信仰の家族のみなさん!神様の倉は空いているはずがなく、神様の泉は乾くことはありません。義を慕い求める者の杯はいつもあふれます。今日も生きておられる神様の御前で義に飢え渴く者になりましょう。そうすると神様と自分、親と子供、夫と妻、人と人の間、くずされた関係がただしく回復される祝福が臨まれます。神様の御言葉をとおして義を学び、義にとどまって神様に喜ばされることを行うことにより、みなさんの人生、家庭が天国になり、私たちの教会とこの社会と国が天国のように満ち足りる祝福を味わえると信じます。神の義に飢え渴くまた6月のクリスチャンプレイズチャーチのみなさん一人一人となりますよう主イエスキリストの御名によって祝福します。アーメン!